

昭和 54 年度沖縄周辺重要水産資源調査

農林省 総務課

漁業課 水産資源課

1. 目的

沖縄周辺海域で、網漁業、一本釣漁業の対象となる主要魚種について、資源調査を恒久的に実施し、それぞれの資源の生態、資源の変動法則を明らかにして、沿岸、近海漁業の管理および合理生産体系の確立をはかる。

2. 調査の概要

1) 個体生態調査

漁獲物を通じて成長と年令、成熟、産卵、系統群、回遊等について知見を復る。

a) 体長測定調査

b) 体長、体重調査

c) 胃内容物、生殖腺調査

2) 漁獲量調査

a) 水揚地調査

b) 標本船調査

3. 調査の実施状況

1) 実施機関 沖縄県水産試験場 漁業室

担当者 当真嗣誠(総括)

友利昭之助(調査測定)

川崎和男(調査測定)

金城武光(調査測定)

喜屋武俊彦(調査、取りまとめ)

2) 調査対象魚種

a) カツオ類(カツオ、タチウオ、タチウオ科)、カサゴ類(カサゴ、カサゴ科)、トビウオ類(トビウオ)

体長測定調査、胃内容物、生殖腺調査、水揚地調査、標本船調査

b) カサゴ類(カサゴ、カサゴ科)、トビウオ類(トビウオ、トビウオ科)

体長・体重測定調査、胃内容物、生殖腺調査、水揚地調査

c) トビウオ類

体長・体重測定調査、胃内容物、生殖腺調査、水揚地調査

(3) 鮮魚取扱い市場水揚量調査

(a) 主要漁協市場水揚量調査(沖縄漁業協同組合連合会、那覇漁業協同組合連合会、糸満漁業協同組合)

(b) 主要魚種水揚量調査(カツオ、タチウオ、カサゴ、トビウオ、マグロ、マラ、マコ、マダラ、マハタ、マサバ、マサバ科)

主要魚種(ハマダイ、ハマフエフキ、スジアラ、アオリイカ)

調査結果は、各調査機関より公表される予定です。